

埼玉県議会議員

埼玉民主フォーラム/立憲民主党

こもり克己

か つ み

プロフィール

- 1975(昭和50)年2月22日生まれ。
- シンガポール日本人小学校卒業。巣鴨高校、慶応義塾大学卒業。
- 大学時代に政治の道を志す。暮らしの基盤をつくり出す「経済」に付いて学ばなければならないと思い、証券会社や企業研究所等に就職・勤務。素材(鉄鋼、化学、紙・パルプ等)や半導体・電子部品など幅広い業界を、株式アナリスト(日本証券アナリスト協会検定会員)等として担当。
- 苦節3度の選挙を経て、2024年3月、繰り上げにより初当選。令和7年度の常任委員会は産業労働委員会、特別委員会は人材育成・文化・スポーツ振興特別委員会に所属。



ご挨拶

平素よりお世話になり、誠にありがとうございます。埼玉県議会議員の「こもり克己」です。
令和7年度(令和7年4月～令和8年3月)も、「地域課題の解決」と「県経済の発展」を両輪に、埼玉県や草加市の更なる発展に向けて、全力で取り組んで参ります。

「地域課題の解決」におきましては、皆様から多くのお声を頂き、令和6年度は、医療や介護、教育、防災に始まり、町会活動のご支援、生活相談やゴミ処理など身近な問題に至るまで、様々な課題へ取り組んで参りました。今年度も皆様方からご要望をお聞かせ頂き、問題解決に取り組むと共に、より良い方向へ政策が進むよう努力して参ります。

「県経済の発展」に付いては、今年度から埼玉県の経済産業及び労働政策を司る「産業労働委員会」に配属となりました。**埼玉県はもちろん、厳しい財政状況にある草加市においても、新事業創出や積極的な企業誘致、観光業振興等に取り組み、市経済の更なる発展、市税収の増加に向け、一肌を脱ぐつもりです。**

今年度も、御指導や御鞭撻並びに御愛顧賜れましたら幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

令和6年度の「地域課題の解決」の主な取り組み実績

防災 ▶	中川・綾瀬川の治水対策を推進。伝右川の河積阻害物除去を前倒しで実施。
医療 ▶	草加市の医療体制強化へ、東部地域医療構想調整会議で、医療格差是正を議題に。
保育 ▶	草加市の待機・保留児童問題の早期解消へ、市当局に申し入れ。
教育 ▶	特別支援学校・特別支援学級の教育体制充実を、埼玉県議会の一般質問で要望。
交通 ▶	道路の安全確保へ大型車規制を導入、交通安全標識を設置。渋滞解消へ信号時間を調整。
観光 ▶	草加市の観光業発展へ、越谷市や春日部市など広域連携推進を県当局に申し入れ。
生活 ▶	町会活動の支援や生活相談。騒音やゴミ、落ち葉等の周辺住民間の問題を解決。

令和7年度当初予算

こもり克己や埼玉民主フォーラム等の要望で、 実現した主な施策

令和7年度の当初予算は、2兆2,308億円（前年度比5.2%増）と、過去最大規模になりました。人口減少・少子高齢化社会の到来、激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応と言う、埼玉県が直面する2つの大きな歴史的課題へ対処します。また私、こもり克己や、立憲民主党の議員で構成する会派・埼玉民主フォーラム等の要望で実現した主な施策は以下の通りです。



地域課題の解決

医療

▶ 75歳以上の重症患者や小児患者の「救急医療体制」を強化

県の救急搬送患者の7割を占め、特に搬送が困難になっている75歳以上の重症救急患者の受入体制を強化します。小児救急患者受入医療機関を2か所公募し、深夜帯の小児救急患者の受入を充実します。

教育

▶ 高校生のキャリア教育や産業教育を推進

高度専門職業人材を育成する為、地域の企業や研究機関、商店街等と連携し、総合学科高校や専門高校等で、実践的な職業教育を実施します。



▶ 過密対策へ特別支援学校を新設

特別支援学校における児童生徒の増加に伴う過密問題に対応し、「県東部地域特別支援学校（仮称。八潮市、令和12年4月開校予定、250名程度）」等を、新たに設立します。

▶ 教職員の業務負担軽減

積年の課題である教職員の業務負担軽減へ、教員事務を補助する「教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）」を726校、「副校長・教頭マネジメント支援員」を47校に、部活動指導員を143人配置します。

▶ 地域と学校との協働活動を推進

放課後子供教室を初め、地域と学校が連携し、地域全体で次世代を担う子供の育成に取り組む活動を支援します。

保育

▶ 待機児童及び保留児童問題の解消へ、保育士の確保に向けた取り組みを推進

国家公務員の給与改定に準じた処遇改善の補助（人件費増額分+10.7%）や、就職支援貸付制度（2年勤務で返還免除など）の拡充など、潜在保育士の復職や新卒保育士の就職支援など、保育士確保を図ります。

防災

▶ 災害対応力の強化（埼玉版FEMA*の推進）

大規模災害に備え、「埼玉県危機・災害等専門家会議」を設置します。令和6年能登半島地震では、固定・携帯電話が使えない事態が発生しましたが、そうした事態が生じない様、衛星通信機器スターリンクを導入し、通信環境を確保します。

*埼玉版FEMAは、米国で災害対応の中心的な役割を担う、「連邦緊急事態管理庁/Federal Emergency Management Agency」をモデルとした取り組みです。

警察

▶ 全国最多となる175人の警察官を増員

埼玉県警は175人の警察官の増員（定数11,524人→11,699人）を行いました。犯罪者グループへの戦略的な取り締まりや、犯罪の温床になっているダークウェブなど、サイバー空間における対処能力の強化等を図ります。

環境

▶ 生物多様性を目指し、ネイチャーポジティブへ

川の保全活動である「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」を初め、生物多様性の回復や保全を目指し、ネイチャーポジティブ（自然再興）を推進します。



高齢者支援

▶ 「地域共生社会」の実現へ

高齢化の進展や単身世帯の増加などで、ご近所で助け合う「地域共生社会」は、重要性を増しています。一段の推進を図るほか、「地域を見守り、支え、つなぐ民生委員」を補佐・協力する「民生委員協力員」制度を創設します。

▶ 認知症施策の総合的な推進へ

高齢者の約3割に、認知に関わる症状（認知症、軽度認知障害）が生じるとされています。認知症への理解を深める活動を行い、ご本人やご家族等を支援すると共に、地域で患者らを支える「チームオレンジ」を支援します。

障害者支援

▶ 障害者就労施設への支援

障害を持つ方が働くことを実感し、収入の増加も図れるよう、障害者就労施設製品の販売増加を支援し、また「就労B型受注拡大ステーション」を通し、就労継続支援B型事業所の事業機会の拡大を図ります。

子ども・若者支援

▶ 子どもや若者の居場所づくり

「放課後児童クラブ」の待機児童問題を解消する為、塾など民間事業者の参入を促進します。「こども食堂」など、こどもの居場所づくりや運営を包括的に支援します。



県経済の発展

経済

▶ 地元経済の振興

草加市は、厳しい財政状況に置かれ、市民税（法人）は低迷が続いています。市民サービスの維持には、経済や産業の振興を通じて、税収の増加を図ることは重要課題です。

私、こもり克己は、埼玉県の手掛ける企業誘致の支援スキーム「ワンチームRich埼玉」などを活用しながら、優良企業群の誘致や、魅力ある新事業の創出に向けて取り組んで参ります。またかつて宿場町として栄えた草加市ですが、「草加松原」や「産業観光」など観光業振興も推し進めて参ります。



▶ 「次世代産業の創出」に向けた取り組み

空飛ぶクルマ 大阪・関西万博では「空飛ぶクルマ」が注目を集め、2027年にはANAホールディングスや日本航空が運航サービスを開始します。県内で自動車生産の基盤を持つホンダによる「空飛ぶクルマ」の商用化・量産化には、まだ多くの時間を要する模様ですが、将来的な生産拠点の誘致、いち早い県内での観光向け運航サービス開始を促して参ります。

ペロブスカイト太陽電池 次世代型太陽電池として注目を集める「ペロブスカイト太陽電池」ですが、様々な種類がある中、最も日本が強みを発揮できるのは、製造の難易度が高い「フィルム型」だと考えております。製造のできる限られたメーカーに、埼玉県への誘致を働き掛けましたが、難航しているものの、粘り強くアプローチして参ります。

培養肉・細胞農業 「培養肉」や「細胞農業」は、生産効率が高く、環境に優しく、動物愛護にも寄与し、現在は主に研究開発段階にありますが、今後急速に広がり、産業を大きく変革すると予測されています。フードテックやアグリテックに適した素地のある草加市において、先進的農業・畜産業の創出や、体験型の農業テーマパーク構想の実現に向けた可能性を探って参ります。

八潮市道路陥没事故

八潮市で発生した道路陥没事故において、5月2日、トラック運転手の男性が、ご遺体となって発見され、大変痛ましい結果となりました。心より御冥福をお祈り致しますと共に、御家族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。また、今回の救出活動及び復旧活動に御尽力、御協力頂きました全ての皆様に、厚く御礼を申し上げます。

埼玉民主フォーラムでは、事故直後、大野知事へ緊急要請書を提出し、2月定例会・予算特別委員会においては、リスクが集中する現行の一極集中型下水処理から、それを分散する小規模施設や合併浄化槽*を使った分散型処理システムへの移行を提案し、知事から同意を得、国に提起する意向が示されました。

私、こもり克己も、これまでの数年おきの点検から、センサーなど「インフラモニタリング技術」を活用した「常時点検」へ舵を切るべきだと、国土交通省等に訴えました。技術確立に若干の時間は要するものの、早期実現や広範な実装に向け、今後とも取り組んで参ります。

*合併浄化槽は、し尿処理のみに対応した単独浄化槽と違い、台所や洗濯などを含む全ての生活排水の汚水処理ができます。

連絡先

埼玉県議会議員

こもり克己

埼玉県草加市中央二丁目4-1-301

<https://www.komori-katsumi.com>

発行元：埼玉民主フォーラム草加支部

048-911-3155

mail@komori-katsumi.com